

東温アルプス ガイドマップ

皿ヶ嶺コースガイド 石墨山コースガイド

1:25,000
500m 0 500 1000 1500

- マーク凡例**
- 皿ヶ嶺コース
 - 石墨山コース

1. 風穴コース (風穴～竜神平～皿ヶ嶺山頂)

風穴まで車で簡単に上げられるようになり、ファミリーハイキングコースとなった。上林森林公園駐車場に車を停める。冷風の吹き出す風穴から歩きやすい登山道を行けば竜神平に到着する。竜神平から山頂を目指す。お子さま連れの場合は、山頂まで行かず竜神平で弁当を食べるだけでも楽しめる。山頂からの下山は、十字峠から竜神平に戻る。

風穴 50分 竜神平 20分 皿ヶ嶺山頂 10分 十字峠 15分 竜神平

2. 上林峠コース (水の元～上林峠～竜神平～皿ヶ嶺山頂)

水の元に駐車し、トイレの近くの登山道に入る。杉林の中を行くが、すぐに自然林となる。やがて古い林道に出会うと右に行き、すぐに階段を上って行く。途中ガレ場などもあるが、注意して行けば上林峠に到着する。ここから長い階段を上る。登山道が尾根の平らな道になれば分岐を左に行き樹林帯を抜けると竜神平に到着する。竜神平から山頂へのコースは1風穴コースと同じである。下山は1風穴コースで戻る。

水の元 30分 上林峠 40分 竜神平 20分 皿ヶ嶺山頂

3. 赤柴峠コース (鉄塔巡視路コース)

鉄塔No.156の側にあるヘアピンカーブ外側の農道に入る。次の鉄塔No.155の手前分岐点に皿ヶ嶺への標識(水の元)が立っている。そのまま農道を直進すると、道端に手書きの赤柴峠の標識があり、これに従って細い道に入る。再び林道に出会い進むと四国電力の鉄塔巡視路の小さな標識が立っており、ここが赤柴峠への登山口となる。道なりに進むと鉄塔No.154、鉄塔No.153を通過する。鉄塔No.153からは、鉄塔から離れるように杉林の中を進み、自然林になれば目的地は近い。最後の急坂を上がり切れば赤柴峠。ここから左に行き尾根道を歩けば、十字峠を経由して皿ヶ嶺山頂に到着する。下山は4磐女石水の元コースを歩き周遊コースを楽しむ。

鉄塔No.156 7分 鉄塔No.155 20分 鉄塔No.154 25分 鉄塔No.153 45分 赤柴峠 30分 十字峠 10分 皿ヶ嶺山頂

4. 磐女石水の元コース (鉄塔-磐女石-水の元-風穴-竜神平-皿ヶ嶺山頂)

鉄塔No.155の手前分岐点に皿ヶ嶺への標識(水の元)があり、ここから登山道に行く。磐女石の横を歩けばすぐに舗装路に出会う。その後、登山道は何度か舗装路を横切り水の元に到着する。水の元からは、水場の横の階段を上り風穴に向かう。風穴から先は1風穴コースと同じコースとなる。山頂からの下山は3赤柴峠コースを歩き周遊コースを楽しむ。

鉄塔No.156 7分 鉄塔No.155 15分 磐女石 30分 水の元 20分 風穴 50分 竜神平 20分 皿ヶ嶺山頂 30分 赤柴峠 30分 鉄塔No.156

5. 井内峠西コース (井内峠～1,253mピーク～陣ヶ森アンテナ～上林峠～竜神平～皿ヶ嶺山頂)

井内トンネルの南側の小さな広場に駐車し井内峠に登る。井内峠に登って稜線を西に向かい、元気坂と呼ばれる急坂を登れば、うなめこ(奥善神山)への稜線に出る。あとはこの稜線を西に行くと1,253mのピークを過ぎて高度が下がり、再び高度が上がれば陣ヶ森のアンテナに到着する。アンテナ手前の分岐を右に行けば上林峠に出る。上林峠から先は2上林峠コースと同じとなる。下山は来た道を引き返す。

井内峠 40分 うなめこ分岐 20分 1,253mピーク 35分 陣ヶ森 25分 上林峠 50分 竜神平 20分 皿ヶ嶺山頂

10. 井内峠東コース

東温アルプスの東半分を歩くロングコースとなる。井内トンネルの南側の広場に駐車する。広場から井内峠に登り、東へ向かう。あとはひたすらアップダウンを繰り返しながら、稜線を進むと石墨山山頂に到着する。出発点の標高が1,000mを越えているため、標高差だけを見ると楽に思えるが、実際は結構きつと感じるだろう。帰りは来た道を引き返すが、根無山林道を歩けば少しは楽に下山できる。

井内峠 50分 梅ヶ谷山 30分

12. 黒森峠コース

国道494号の黒森峠の駐車場に車を停める。ここから稜線に入り右に自然林、左に杉の人工林を見ながら進むと、東温高校の山小屋に到着する。ここから先は、11石墨登山口コースと同じである。下山は来た道を引き返す。

黒森峠 35分 割石峠 45分 石墨の分かれ 35分 石墨山山頂

6. 六部堂コース

国道33号沿いにある久万スキーランド入口の駐車場に車を停める。ここから久万スキーランドに向かい、標識(皿ヶ嶺)に従って進むと、すぐに未舗装の林道縦ノ木支線に入る。作業用林道と登山道が何回も交差するので、標識を見落とさないように注意して進む。十字峠に出て尾根道を右に進むと、すぐに皿ヶ嶺山頂に到着する。下山は7六部堂越コースを歩き周遊コースを楽しむ。

六部堂 15分 縦ノ木林道入口 75分 十字峠 10分 皿ヶ嶺山頂

8. 畑野川コース (皿ヶ嶺山頂への縦越コース)

上林トンネルから約1km程度走ったところのヘアピンカーブ外側に登山口がある。ここから杉林の中を進み、自然林になれば間もなく竜神平から皿ヶ嶺山頂への登山道分岐点に到着する。

登山口 30分 登山道分岐点 15分 皿ヶ嶺山頂

11. 石墨登山口コース (一般コース)

唐岬の滝駐車場に車を停める。登山道に入り杉林の中を進む。登山道が水平になった頃に、左に割れた岩が見える。少し進むと東温高校の山小屋がある割石峠に到着する。ここから山に向かう。最後の石墨名物の急坂を登ると、石墨の分かれに出る。左に稜線を進むと、正面に石墨山を望む展望岩に出る。岩を越えてブナの稜線を進むと、石墨山山頂に到着する。帰りは来た道を引き返しても良いが、13唐岬の滝林道コースを回れば周遊コースが楽しめる。

登山口 30分 割石峠 45分 石墨の分かれ 35分 石墨山山頂

14. 白猪峠コース

白猪の滝駐車場に車を停める。白猪の滝に向かう林道を進み、滝に向かう遊歩道入口の手前で山側の登山道に入る。杉林の中を進むと白猪の滝上流の川に出る。川を渡って左岸を進むが、猪の遊び場所で登山道が分かり難いところもあるので注意する。やがて白猪谷の分岐点に到着する。ここから先は13唐岬の滝林道コースと同じである。このコースは出発点と石墨山の標高差が約1,000mあるため健脚者向けとなるが、一般コースに飽きた人には面白いコースである。下山は石墨の分かれから唐岬の滝駐車場に向かえば三週コースが楽しめる。

白猪峠 105分 石墨山山頂 100分 唐岬の滝駐車場 45分 白猪谷分岐 30分 登山口 75分 白猪谷分岐 40分

7. 六部堂越コース

国道33号沿いにある久万スキーランド入口の駐車場に車を停める。六部堂バス停すぐ側の山道に入り、小さな谷に出れば対岸に渡る。しばらく進むと、小さな川を越えて林道のすぐ下に出る。林道の斜面を上がり、逆S字カーブを行けば次の登山道の取りつきが見える。ここを登って道なりに進むと峠(六部堂越)に出る。ここから尾根の登山道を直登していけば皿ヶ嶺山頂に出る。帰りは6六部堂コースを下りれば周遊コースが楽しめる。

六部堂 35分 林道 25分 六部堂越 45分 皿ヶ嶺山頂

9. 引地山コース

久万スキーランドの駐車場に車を停めて林道を進めば、引地山への登山口がある。そこから登ると引地山に到着する。そのまま稜線を進むと赤柴峠に出る。赤柴峠から先は3赤柴峠コースと同じである。

久万スキーランド駐車場 20分 登山口 15分 引地山 5分 赤柴峠 70分 皿ヶ嶺山頂

13. 唐岬の滝林道コース

唐岬の滝駐車場に車を停める。唐岬の滝に向かう坂道を下りて小さな橋を渡り、すぐ左の急勾配の林道を進む。林道を道なりに進み、急坂を登ると尾根に出る。ここまでは林道歩きだが、ここから先は踏み跡を探して登山道に入る。標識(白猪峠)が見えたら白猪谷分岐である。稜線の登山道に出たらそこが白猪峠である。ここから先は10井内峠東コースの白猪峠からのコースと同じである。帰りは11石墨登山口コースで下山すれば、周遊コースが楽しめる。

唐岬の滝駐車場 45分 白猪谷分岐 40分 白猪峠 105分 石墨山山頂

12. 黒森峠コース

国道494号の黒森峠の駐車場に車を停める。ここから稜線に入り右に自然林、左に杉の人工林を見ながら進むと、東温高校の山小屋に到着する。ここから先は、11石墨登山口コースと同じである。下山は来た道を引き返す。

黒森峠 35分 割石峠 45分 石墨の分かれ 35分 石墨山山頂

周回コース

東温アルプスには、一つの登山口から2つの登山コースが出ている所が、4ヶ所あります。このため登山時と下山時で違うコースを歩けば、周回コースが楽しめます。

- 水の元～風穴～竜神平
水の元～上林峠～竜神平 ◀通行禁止(水の元～上林峠)
- 鉄塔No.156～赤柴峠～皿ヶ嶺山頂
鉄塔No.156～水の元～風穴～竜神平～皿ヶ嶺山頂
- 六部堂～十字峠～皿ヶ嶺山頂
六部堂～六部堂越～皿ヶ嶺山頂
- 唐岬の滝駐車場～割石峠～石墨の分かれ～石墨山山頂
唐岬の滝駐車場～白猪谷分岐～白猪峠～石墨の分かれ～石墨山山頂

注意点

⑥、⑦、⑬、⑭コースは、登山道と作業用林道が交差したり、作業用林道を登山道として歩くところもあり、道が改変されていることがあります。また、全コースを通して、自然の環境であるため、マップの記載内容と変化している場合もあります。東温アルプスの尾根道以外のコースは、経験者(またはガイド)に同行してもらうことをおすすめします。

トイレ冬季使用禁止場所 ●唐岬の滝駐車場 ●水の元
●冬季は登山口までの道路に積雪、凍結あり。チェーン携行のこと。